

1530人力走 つなぐ絆

屋島でリレーマラソン

市民が3〜10人編成のチームを組んでたすきをつなぐ「屋島GENPEERILEEMARATHON大会（同実行委主催）」が15日、高松市屋島中町の屋島レクザムフィールド（屋島競技場）で開かれた。1500人余りの出場者が競技場内の特設コースを思い思いのペースで走り、仲間との絆を強めた。

元五輪代表 小林祐梨子さん参加

指して序盤から快調に飛ばしたり、マイペースでスタンドからの応援に手を振って応えたりするなどして、ランナーたちは次の走者にたすきをつないだ。小林さんも大勢に交じって走り、コース途中で苦しそうなランナーに声援を送ったりしながらレースを盛り上げていた。



号砲とともに一斉に走り出すランナー＝高松市屋島中町、屋島レクザムフィールド

ゴール前では、既に走り終えたチームメイトが最終走者と一緒にゴールテープを切るなど、笑顔で感動を分かち合っていた。ハーフ部門に出場した屋島小6年の近藤夏明君（11）は「途中の坂を上るのがきつかったけど、最後にチームのみんながゴールできて気持ち良かった」と笑顔を浮かべた。

市民と走り終えた小林さんは「鮮やかなブルーのトラックと、屋島の景色がマッチした素晴らしい施設で気持ちよく走れた。リレーマラソンの参加者から将来有望な選手が生まれて、競技場とともに有名になってほしい」と話していた。